

# HiKOKI

## 取扱説明書

### 用途

●全ねじの切断（下記サイズ）

W1/2：軟鋼のみ

W3/8：軟鋼・ステンレス

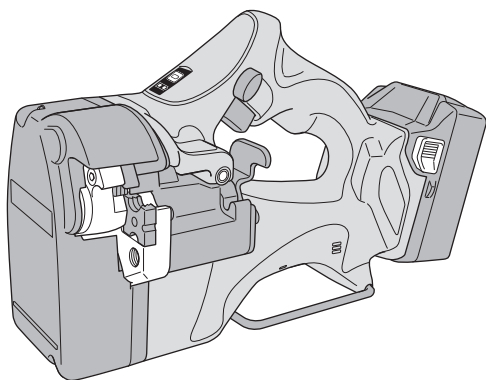
W5/16、M12、M10、M8、M6：軟鋼のみ

## コードレス全ねじカッタ

14.4 V CL 14DSAL

18 V CL 18DSAL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
USB 機器との接続時のご注意…	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称…	9
仕様…	11
別売部品…	13

### 使い方

各種操作方法について…	14
切断する…	19
作業上のご注意…	21
カッタの取りはずし・取付け…	21
吊下げ、固定された全ねじの切断…	25
定寸切断作業…	26
全ねじのバリ取りについて…	27
切断途中の全ねじのはずし方…	28
蓄電池を充電する…	29
USB 機器を充電する…	31

### その他

保守・点検…	33
故障診断…	35
ご修理のときは…	裏表紙

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

#### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

#### ② 正しく充電してください。

- 付属の充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。  
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 付属の充電器は温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 未満、または温度が $40^{\circ}\text{C}$ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電や火災の恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**  
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。  
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**  
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて連ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
  - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**  
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
  - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
  - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス全ねじカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- ① **使用中は、工具を確実に保持してください。**  
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ② **スイッチを操作する際、カッタに指を近づけないでください。**  
けがの原因になります。
- ③ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ④ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体やカッタ類などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。**  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑤ **カッタの点検、掃除、交換の際は必ず蓄電池をコードレス工具本体からはずしてください。**  
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- ⑥ **本体を持ち運んだり、保管したり、作業を休止している際は、正逆切替ボタンをロックの位置にしておいてください。**  
ロックの位置にしておかないと、不用意にスイッチが入り、けがの原因になります。(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)。
- ⑦ **工具本体、および蓄電池の端子部(蓄電池取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。**  
蓄電池を取付けた場合に短絡(ショート)して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑧ **工具本体の端子部(蓄電池取付部)に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡(ショート)して、発煙・発火などの恐れがあります。

## ⚠️ 注意

- ① 工具類(カッタ)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ③ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。  
故障の原因になります。
- ④ 蓄電池は確実に取付けてください。  
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑤ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑥ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑦ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

## USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属(NN仕様を除く)されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般のUSB機器を充電できるUSB端子を装備しています。

USB機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続したUSB機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB機器との接続において、USB機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
このときは速やかに充電してください。
- ② コードレス工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。



## ⚠ 警告

- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

## 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

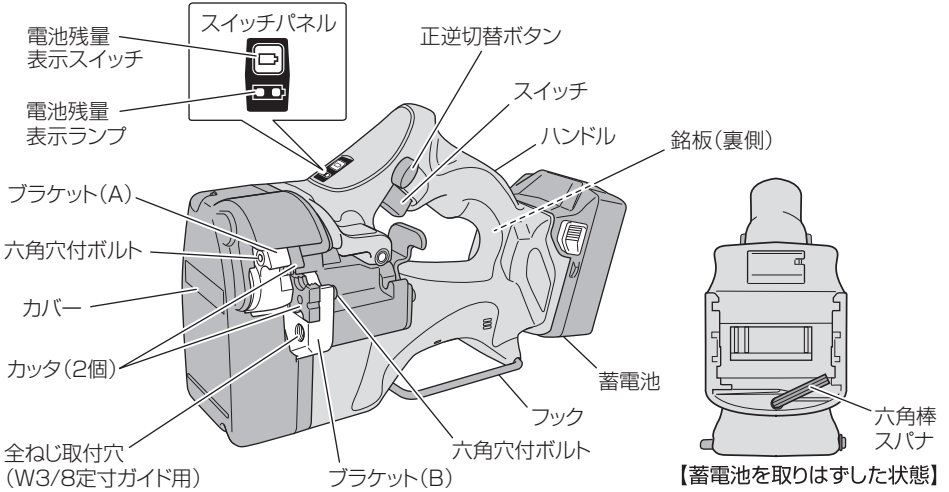
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 各部の名称

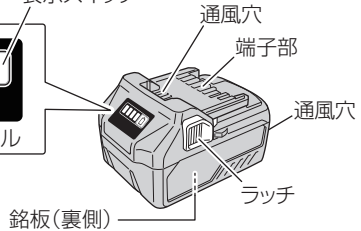
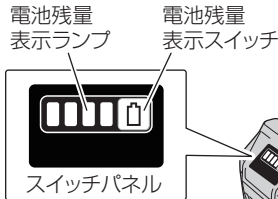
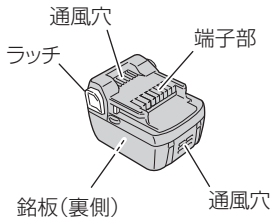
## 工具本体



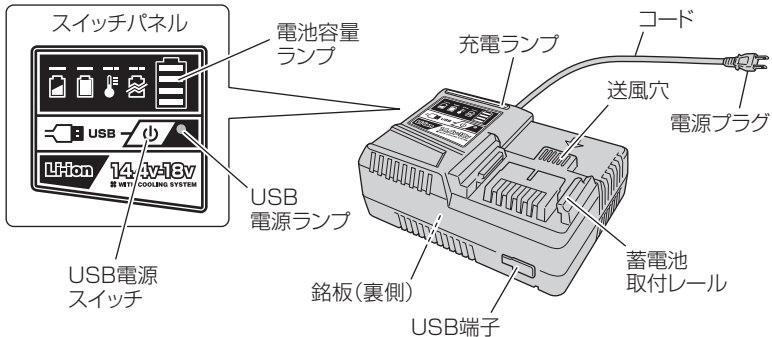
## 蓄電池

14.4V (BSL1460)  
18V (BSL1860)



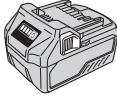
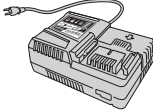

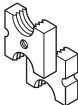




36V (BSL36A18)



## 充電器



## 標準付属品

品名 (形名)	形名 仕様	CL14DSAL	CL18DSAL		
		LYPK	LYPK	LXPK	NN
蓄電池 BSL 1460		1 個	—	—	—
蓄電池 BSL 1860		—	1 個	—	—
蓄電池 BSL 36A18		—	—	1 個	—
充電器 UC18YDL		1 台	1 台	1 台	—
W1/2 カッタ		1 組	1 組	1 組	1 組
W3/8 カッタ		1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)	1 組 (本体装着)
スペーサ (A) (刻印: A) ※		2 個 (本体装着)	2 個 (本体装着)	2 個 (本体装着)	2 個 (本体装着)
六角棒スパナ		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)
収納ケース		1 個	1 個	1 個	—
電池カバー		1 個	1 個	1 個	—

※ スペーサ (A)(刻印: A) は、W1/2、M12 以外のカッタ取付け時の厚み調整用です。

# 仕 様

## 1. 工具本体

形 名	CL14DSAL	CL18DSAL	
切 断 能 力 <sup>*1</sup>	軟鋼全ねじ：W1/2、W3/8、W5/16、M12、M10、M8、M6 ステンレス全ねじ：W3/8		
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	25min <sup>-1</sup> {回/分}		
モ ー タ ー	直流モーター		
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池		
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ、 BSL 18xx シリーズ、BSL 14xx シリーズ		
工 具 本 体 寸 法 全長×全幅×全高	304×114×185mm (BSL 1460 装着時)	310×114×185mm (BSL 1860/BSL 36A18 装着時)	
質 量	4.1kg (BSL 1460 装着時)	4.2kg (BSL 1860 装着時)	4.3kg (BSL 36A18 装着時)
電池残量表示ランプ	赤色 LED		

※1：指定サイズの全ねじ以外の切断にはご使用できません。

**注** 黄銅全ねじや W3/8 以外のステンレス全ねじを切断すると、ねじ山が変形し、ナットが入りません。  
また、焼き入れボルト、異なるサイズの全ねじ、鉄筋などを切断すると、本体を破損する場合がありますので、使用しないでください。

## 2. 蓄電池

形 名	BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池		
電 池 電 圧	14.4 V	18 V	36 V / 18 V (自動切替 <sup>*1</sup> )
容 量	6.0 Ah		2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 <sup>*1</sup> )
冷 却	対応		
使用可能な コードレス製品 <sup>*2</sup>	14.4 V 品	18 V 品	18 V 品 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品
使用可能な充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器		
残量表示ランプ	-		緑色 LED

※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

### 3. 充電器

形 名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL 14xxシリーズ)、18 V (BSL 18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間 <sup>*1</sup> [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分	
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825		
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820		
BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830		BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815			
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コ ー ド		2 心ビニールコード			
質 量		0.8 kg			
使用温度範囲 <sup>*2</sup>		-10 ~ 40℃			
冷 却		対応 (ファン付き)			
ブ ザ ー 音		あり			


※1: 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

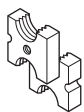
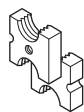

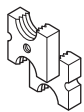
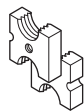

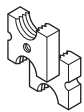

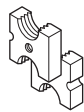

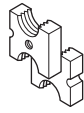

※2: 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## カッタ

W1/2、M12 以外のカッタを本体へ装着するときは、標準付属品のスペーサ A(刻印：A) を使用します。  
(詳細は、P.24 「カッタとスペーサを取付ける」参照)

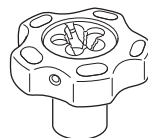
カッタ名	セット内容		カッタ名	セット内容	
	カッタ	スペーサ		カッタ	スペーサ
W1/2 カッタ		—	M12 カッタ組		M12 スペーサ (刻印：M12) 
W3/8 カッタ		—	M10 カッタ組		M10 スペーサ (刻印：M10) 
W5/16 カッタ組		W5/16 スペーサ (刻印：W5/16) 	M8 カッタ組		M8 スペーサ (刻印：M8) 
			M6 カッタ組		M6 スペーサ (刻印：M6) 

## トリマ

全ねじを切断した後のバリ取り用にご使用ください。  
対応する全サイズ（5種）をご用意しています。

W3/8：軟鋼・ステンレス用

W5/16、M10、M8、M6：軟鋼用






# 各種操作方法について

## ●工具本体の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

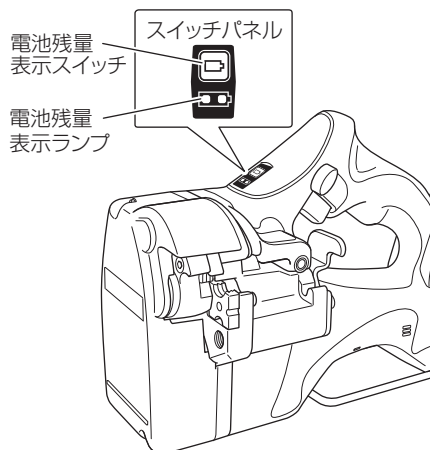
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

### ⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。





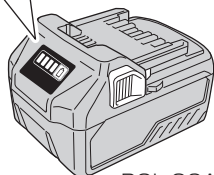
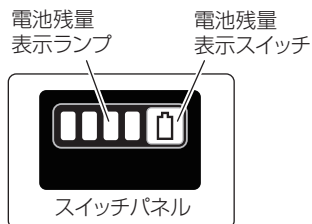
## ● 蓄電池の電池残量表示について (BSL 36A18 のみ)

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約 3 秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 <sup>※1</sup>
		故障のため出力停止 <sup>※2</sup>

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ● 1 充電あたりの作業量について

1 充電あたりの切断回数の目安を示します。  
(切断回数は、使用環境、蓄電池特性、カッタの状態などにより多少異なります。)

**【CL 14DSAL の場合】** 蓄電池：BSL 1460

	W1/2	W3/8
軟鋼	約 560 本	約 1,480 本

**【CL 18DSAL の場合】** 蓄電池：BSL 1860

	W1/2	W3/8
軟鋼	約 700 本	約 1,850 本

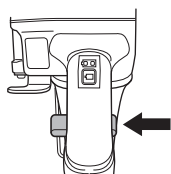
**【CL 18DSAL の場合】** 蓄電池：BSL 36A18

	W1/2	W3/8
軟鋼	約 580 本	約 1,540 本

## ● 正逆切替ボタンの使い方

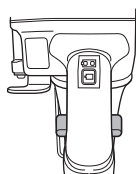
作業に応じて切断、ロック、開放の3位置にボタンを切替えてください。

**切断**



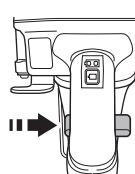
切断作業時に、ボタンを右から押し込みます。スイッチを引くとモーターが起動し、カッタが動きます。

**ロック**



運搬や保管、作業休止の際には、中央の位置にします。スイッチを引いてもモーターは起動しません。

**開放**



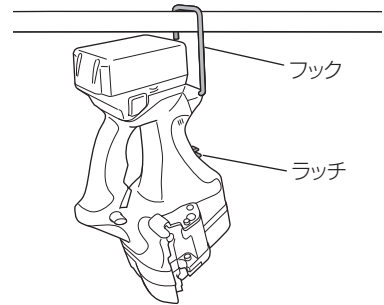
ボタンを左から押し込みながらスイッチを引いて、カッタから全ねじをはずし、すぐにスイッチを切ります。  
(P.28「切断途中の全ねじのはずし方」参照)

## ●フックの使い方

### ⚠警告

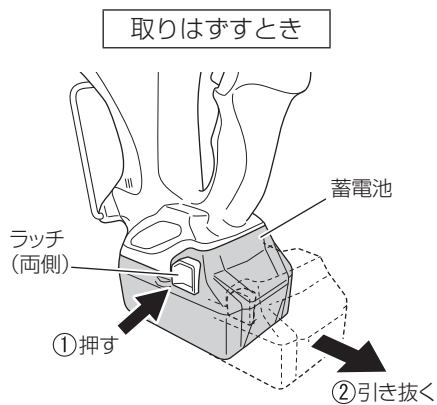
- このフックは人体への吊下げ用ではありません。  
ベルトやズボンなど人体への吊下げは、けがの原因となりますので、絶対にしないでください。
- フックを使用するとき、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。
- 通常使用されるとき、または保管するときには、フックは本体底部のラッチに収納しておいてください。

作業中に本体を一時的に置くとき、フックを利用されると便利です。

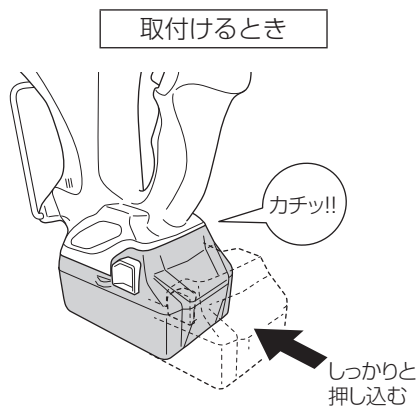


## ●蓄電池の取りはずし・取付け

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



# 切断する

## ● 下記サイズの全ねじを切断します

W1/2(通称4分全ねじ): 軟鋼のみ

W3/8(通称3分全ねじ): 軟鋼・ステンレス

W5/16(通称2分5厘全ねじ)、M12、M10、M8、M6: 軟鋼のみ

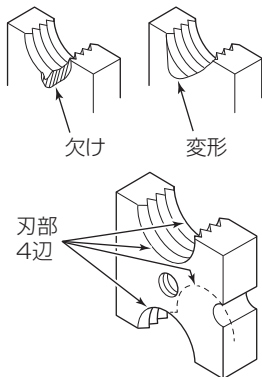
## 警告

カッタの点検の際は、必ず蓄電池を工具本体からはずしてください。  
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

## 1

### カッタ刃部を確認する

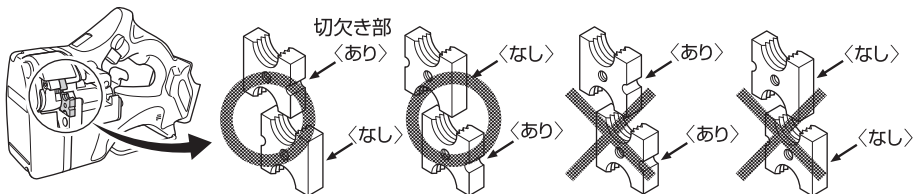
- 右図のように、刃部に〈欠け〉や〈変形〉を生じたカッタをそのまま使用すると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形してきれいに切断できなくなり、ナットが入らなくなります。
- 刃部に欠けや変形がある場合は、上下2個のカッタの取付け向きを変えて新しい刃部を使用するか、または新しいカッタに交換してください。  
(P.21「カッタの取りはずし・取付け」参照)



## 2

### カッタ取付け向きを確認する

カッタの取付け向きにはねじ山の方向性があるため、本体正面から見て、上下2個のカッタの側面切欠き溝が下図に示す〈あり〉と〈なし〉の正しい組合せ(2通り)になっているかご確認ください。



**注** 2個のカッタを取付けている2本の六角穴付ボルトがしっかり締付けられているか、本体蓄電池挿入部に装着してある(P.9「各部の名称」参照)六角棒スパナを使用してご確認ください。

ボルトがゆるんだ状態でご使用になると、本体やカッタの破損をまねく事があります。

## ⚠ 警告

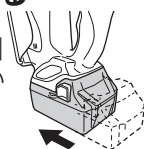
- スイッチ操作時は、絶対にカッタに指を近づけないでください。
- 短い全ねじを切断するなどの作業では、本体と全ねじのすき間（蓄電池部と全ねじのすき間など）に指をはさまないように注意してください。

## ⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

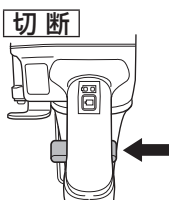
## 3 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



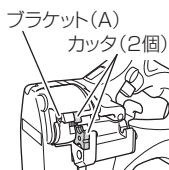
## 4 正逆切替ボタンを切断にセットする

ボタンを右から押し込み、切断の位置にします。  
(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)



## 5 カッタを開く

スイッチを軽く引いて、ブラケット (A) を動かし、カッタが開いた状態で停止させます。

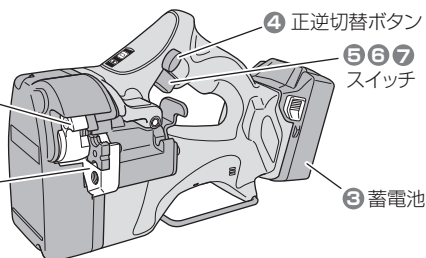


1 2 5

カッタブラケット (A) 側

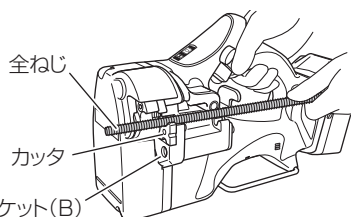
1 2 6

カッタブラケット (B) 側

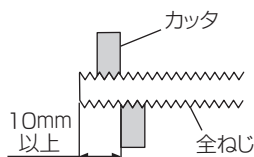


## 7 スイッチを切る

全ねじ切断後、カッタが開いた状態でスイッチを切ると、次の作業がしやすくなります。



**注** 全ねじを 10mm 以下の長さに切断すると、全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり、カッタの損傷につながります。10mm 以上の長さで切断してください。



# 作業上のご注意

## ●連続作業について

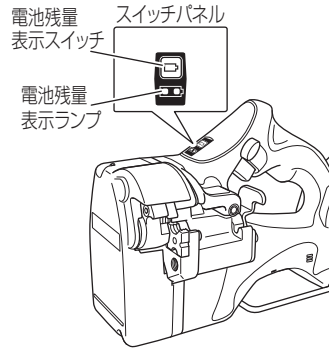
本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にコードレス工具体を15分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。また、温度保護回路が作動しているときに、スイッチを引くと電池残量表示ランプが点滅します。



# カッタの取りはずし・取付け

## ⚠ 警告

カッタの点検の際は、必ず蓄電池を工具体からはずしてください。  
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

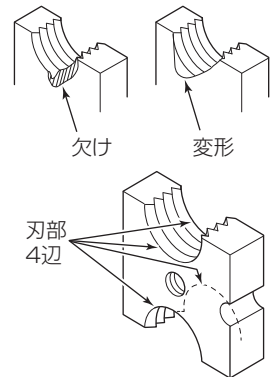
## ●カッタの寿命

カッタは全ねじの切断の繰り返しにより図に示すように、刃に<欠け>や<変形>を生じてきます。

そのままご使用を続けると、全ねじの切断部にバリが生じたり、ねじ山が変形したりしてきれいに切断できず、ナットが入らなくなります。

カッタには右図に示すように、刃部が4辺ついていますので、P.23「カッタの取付け」に示す方法でカッタの取付け向きを変えることにより、4回使用できます。

刃部の欠けや変形によってナットが全ねじに入らない場合は、欠けや変形のない刃部を使用するようカッタの取付け向きを変えるか、または新しいカッタと交換してください。

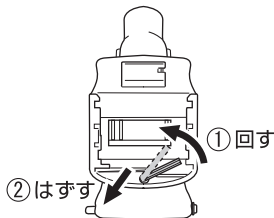




## ●六角棒スパナの取出し・収納

### 取出し

- 蓄電池を取りはずしてください。
- 六角棒スパナを反時計方向に回して引っ張り、取りはずします。



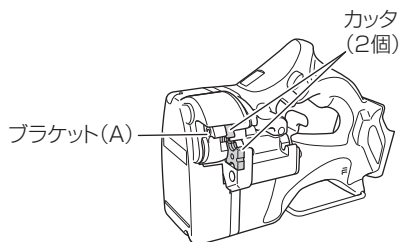
### 収納する

- 六角棒スパナを取付穴にさし込み、時計方向に回して引っかけ、固定します。
- 蓄電池を取付けてください。

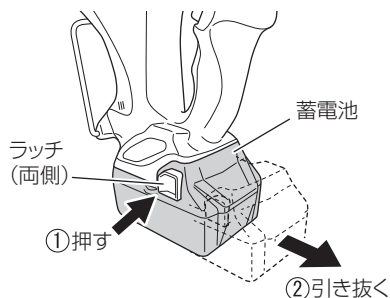
## ●カッタの取りはずし

### 1 カッタを開く

スイッチを軽く引いて、ブラケット (A) を動かして、カッタが開いた状態で停止させます。

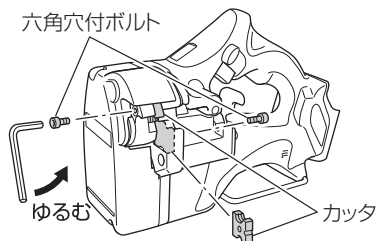


### 3 蓄電池を取りはずす



### 4 カッタを取りはずす

- 付属の六角棒スパナで六角穴付ボルト (2本) をゆるめて、上下2個のカッタを取りはずします。
- スペーサがある場合は、スペーサも取出してください。



### 2 正逆切替ボタンをロックの位置にする

P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照

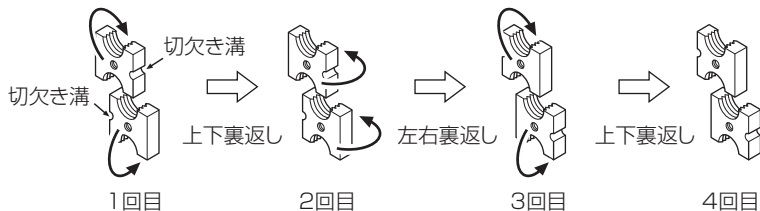


# ●カッタの取付け

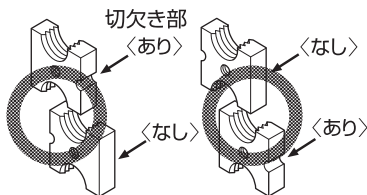
## 1

### カッタを準備する

- カッタを2個用意して、刃部の欠けや変形を確認し、カッタの取付面にふくらみがある場合には、ヤスリなどで平らに仕上げてください。
- 刃部の取付け向きを変えれば、1個のカッタを4回ご使用いただけます。

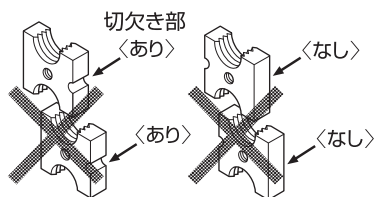


- 刃部の位置を変える際は、カッタ同士の位置関係があります。本体の正面から見て、図のようにカッタ側面の切欠き溝を<あり> と<なし>の関係にします。



- ブラケット (A)(B) のカッタ取付け溝内に付着した切粉は、ブラシなどで取除いてください。

**注** 切欠き溝が<あり>と<あり>、<なし>と<なし>の間違った組み合わせでは、全ねじの山(ピッチ)にカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、本体の早期故障につながりますのでご注意ください。



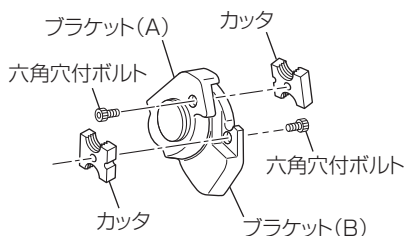
# 2

## カッタとスペーサを取付ける

### W1/2 カッタの場合 (標準付属)

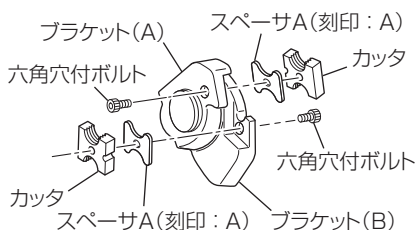
カッタをブラケット (A)、(B) のカッタ取付け溝に入れ、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2 個のカッタを確実に固定します。

(標準付属のスペーサ A (刻印: A) は使用しません。)



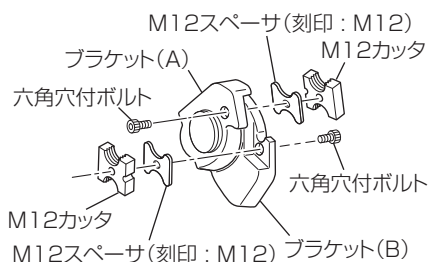
### W3/8 カッタの場合 (標準付属)

付属の厚み調整用のスペーサ A (刻印: A) をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット (B) とカッタの間に正しくはさみ込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。



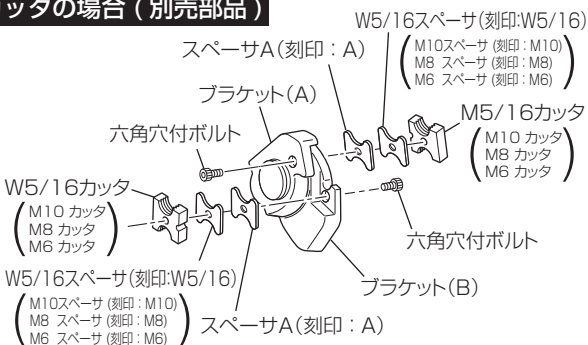
### M12 カッタの場合 (別売部品)

M12 カッタにセットの専用の M12 スペーサ (刻印: M12) をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット (B) とカッタの間に正しくはさみ込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。(標準付属のスペーサ A (刻印: A) は使用しません。)



### W5/16、M10、M8、M6 カッタの場合 (別売部品)

たとえば、W5/16 カッタをご使用の場合、標準付属のスペーサ A (刻印: A) とカッタに同梱の専用スペーサの両方をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット (B) とカッタの間に正しくはさみ込み、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2 個のカッタを確実に固定します。



- 注**
- W5/16、M12、M10、M8、M6 の各カッタとスペーサはサイズごとにセットです。スペーサ A (刻印: A) は共通です。
  - カッタに同梱の専用スペーサやスペーサ A (刻印: A) を付けずに使用したり、異なるサイズのスペーサやカッタを付けて使用すると、ねじ山が正しくかみ合わず、全ねじやカッタの刃部を破損しますので、必ず正しく取付けてください。

# 吊下げ、固定された全ねじの切断

天井から吊下げたり、壁や床に固定された全ねじを切断する場合、全ねじをカッタにセットする際に、ねじ山のかみ合わせが不安定になりますので、次のようにご使用ください。

## 1 ねじ山をかみ合わせる

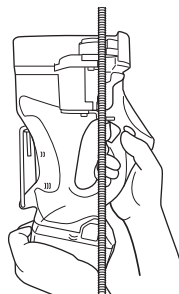
- ブラケット ( B ) 側のカッタに、全ねじのねじ山を正しくかみ合うようにセットします。
- スイッチを小刻みに ON - OFFしながらカッタを少しずつ閉じていき、全ねじのねじ山と上下両方のカッタのねじ山を完全にかみ合わせます。

## 2 全ねじを切断する

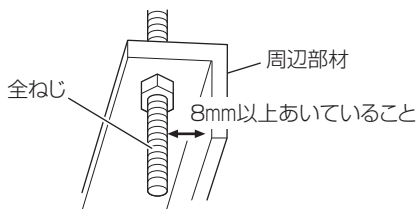
スイッチを完全に引いて、全ねじを切断します。

## ⚠ 注意

吊下がり全ねじを切断するときは、万一の落下防止のため、本体は両手で保持してください。



**注** 狭い箇所に固定された全ねじを切断するときは、全ねじと周辺部材に8mm以上の間隔が必要です。8mm以下では、カッタが周辺部材に当たり、カッタや本体を損傷します。



# 定寸切断作業

同じ長さの全ねじを数多く切断する定寸切断が、能率よく切断できます。

## 1 定寸ガイドを作成する

W3/8 全ねじを 1 本、必要な長さ (L) より 20mm 以上長くして切断し、これを定寸ガイドに利用します。

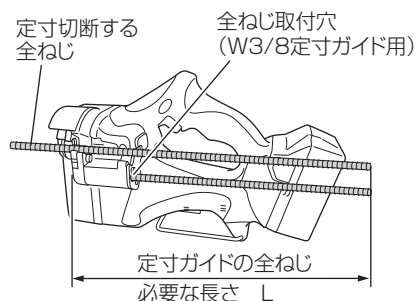
**注** 全ねじ取付け穴のねじサイズは W3/8 ですので、定寸ガイドとして使う全ねじは W3/8 をご用意ください。

## 2 定寸ガイドを取付ける

- 本体の全ねじ取付け穴 (W3/8 定寸ガイド用) に定寸ガイドの全ねじをねじ込みます。
- 定寸ガイドの全ねじの後端部からカッタまでの距離が、必要な長さ (L) になるよう前後に微調整してください。

## 3 全ねじを定寸切断する

- 切断しようとする全ねじを、定寸ガイドの全ねじと後端部をそろえてカッタにセットし、切断します。
- 必要な長さ (L) に切断されますので、同じ手順で作業を繰り返します。

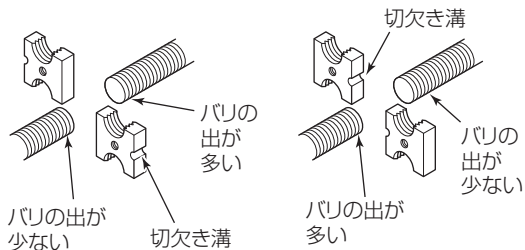


# 全ねじのバリ取りについて

全ねじを切断する際に、

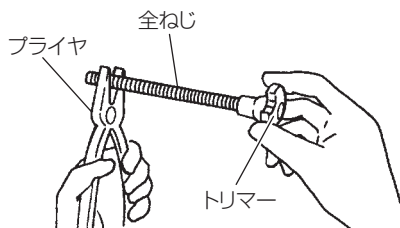
切欠き溝の<くない>カッタ側の切り口：バリが少ない

切欠き溝の<ある>カッタ側の切り口：バリが多い 特徴があります。



切断後、バリでナットが入りにくい場合には、切り口のバリをニッパ・ヤスリ、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使って取ってください。

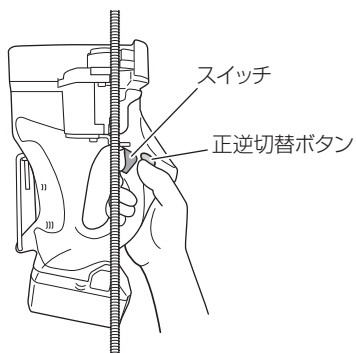
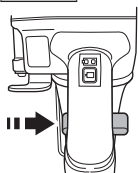
また、フライヤで固定しトリマー（別売部品）で取ってください。



# 切断途中の全ねじのはずし方

電池残量が少なくなり全ねじ切断作業途中でモーターの回転が停止した場合、すぐに正逆切替ボタンを開放側へ（左から）押し込みながらスイッチを引いて、モーターを逆回転させ、カッタから全ねじをはずしてください。

開放



- 注**
- 電池残量が少なくなり、全ねじ切断作業の途中でモーターの回転が停止した場合だけ開放の位置にしてください。
  - カッタを全ねじからはずして、スイッチを入れたままにすると、再びカッタが全ねじに食いついてしまいます。
  - 開放の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり、切断できません。また、本体に無理な力が作用し、破損する場合がありますので、開放の位置では切断しないでください。



# 蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

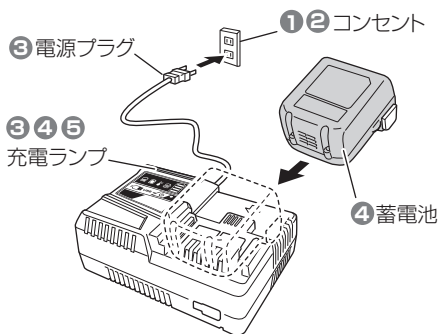
## 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 充電時間

BSL 1860 / BSL 1460 : 約 30 分  
BSL 36A18 : 約 25 分

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



# 1

## 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

# 2

## コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

# 3

## 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.30「充電ランプの表示について」参照)

# 4

## 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

# 5

## 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。  
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯 / 0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯  (断続ブザー音: 約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

**注** 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

## ●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

**注** 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

### ⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

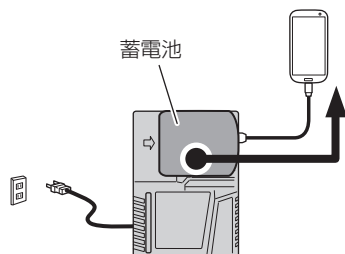
弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
  - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.35「故障診断」参照)。
  - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
  - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

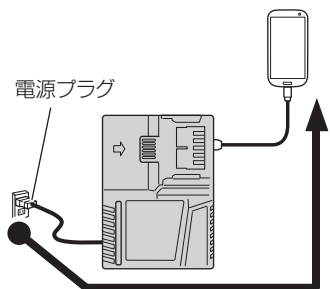
## 1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

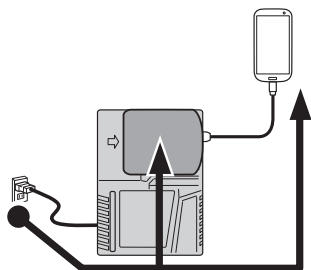
### 蓄電池から USB 機器を充電



### 100V コンセントから USB 機器を充電

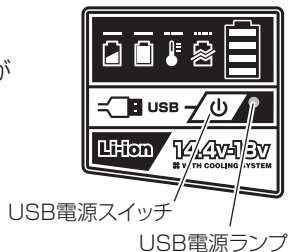


### 100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



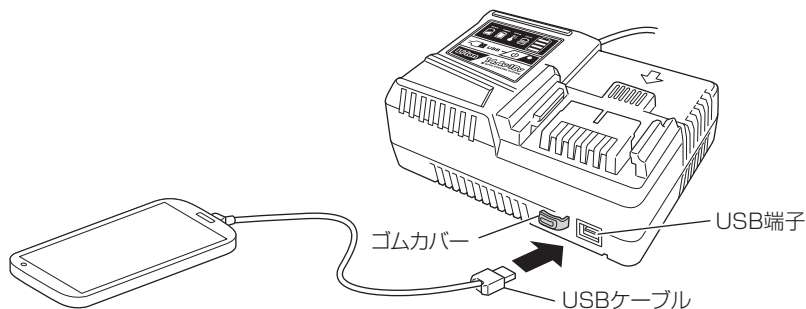
## 2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



## 3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

## 4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。  
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ● カッタの点検とお手入れ

刃部に欠けや変形を生じたままご使用されると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形して、ナットが入らなくなります。

早めにカッタの取付け向きを変えるか、新品と交換してください。

使用後は、特にカッタの刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

### ● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ● 端子部(工具体体、蓄電池)の点検

## ⚠ 注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっていない場合は、取り除いてください。  
そのまま使用すると、故障の原因になります。

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。  
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

### ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

### ● モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。  
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

### ● 作業後の保管

使用しない機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

**注**

- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

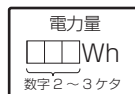
## ● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

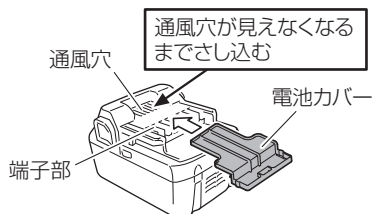


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池はコードレス工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3ヶ月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

## 1. 工具体

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチツとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	スイッチを引いたまま、蓄電池を取付けた	安全機能が作動したためです。 一度スイッチをはなして、もう一度スイッチを引けば動きます。
突然止まった	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分冷ましてください。
	温度保護回路が作動した	本体を十分に冷ましてください。
スイッチが引けない	正逆切替ボタンが「ロック」の位置になっている	「切断」または「開放」の位置にしてください。

## 2. 充電器

状況	原因	対策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。 充電器の電源プラグを 100V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。







# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご  
確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>